

国保財政のしくみ

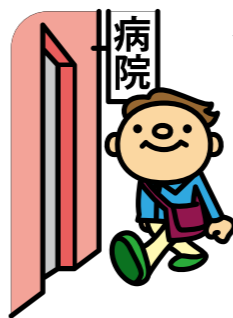
本市の国保財政は、高齢者割合の増加や医療の高度化などにより、年々厳しい状況となっております。国保事業を安定的に運営していくためには、市の取り組みに加えて市民の皆さんのご理解とご協力が不可欠です。

そこで、国保の制度をより深く知っていただくために、国保財政のしくみをご紹介します。

【お問い合わせ先】三好市保険医務課（電話 72-7613）

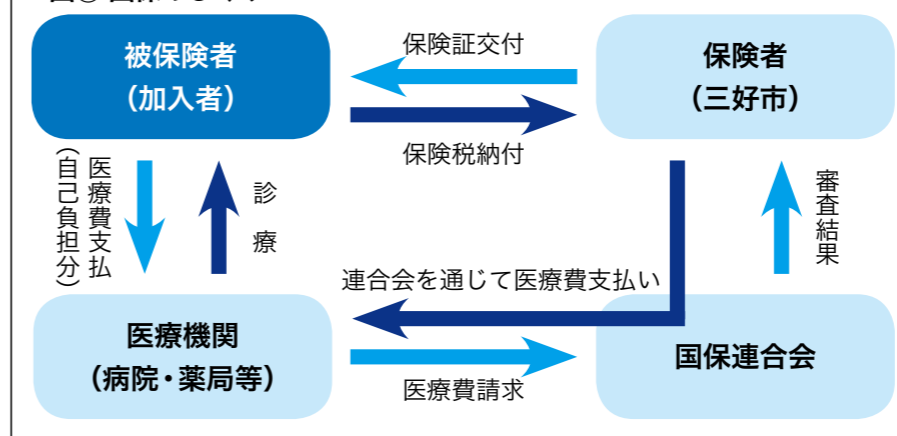
国保のしくみと医療費負担割合

国民健康保険では、国保加入者が病気やけがをして病院や薬局などの医療機関で診療を受けた時、医療機関の窓口で自己負担金をお支払いいただき、残りを保険者である三好市が支払っています。（図①参照）



その財源は、国や県などからの補助金や国保加入者で納める国保税で賄うことが原則とされています。（図②参照）

図① 国保のしくみ

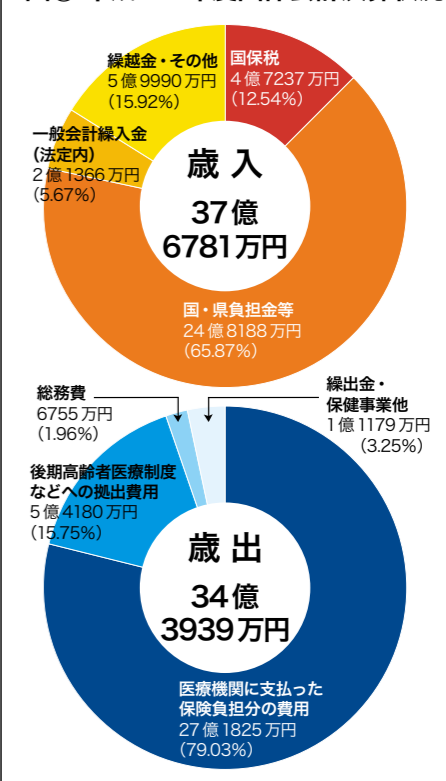


図② 医療費の負担区分イメージ

前期高齢者交付金				
保険税 (50%)		国・県負担金等 (50%)		
保険税軽減分	保険税	県調整交付金	国調整交付金	療養給付費負担金

自己負担分
 ・義務教育就学前：2割
 ・義務教育就学以上70歳未満：3割
 ・70歳以上75歳未満：1割（※）
 （現役並み所得者は3割）
 ※法律では2割ですが、現在1割に据え置きしています。

図③ 平成23年度国保会計決算状況



国保会計の決算状況について

平成23年度決算で見ますと、医療機関に支払った保険者負担の費用が79・03%、後期高齢者医療制度などへの拠出金を合わせると支出の95%を占めているにもかかわらず、国保の財源は、保険税12・54%、国・県補助金等が65・87%、繰越金等は15・92%となっております。（図③参照）

このことから、国保財源は、医療費の支払いに見合う保険税収が得られておらず、厳しい運営が続いており、今年度は繰越金が見込められないことから、危機的状況となっております。

国保財政の健全化に向けて

今日ではがんに加え、高血圧、腎不全など生活習慣病が増加し、年々医療費が伸びています。先に述べたように、医療費が高くなるとそれに見合う保険税収が必要になることから、保険税率の見直しもしなければなりません。

国保制度を維持し安定した運営をするには、国保加入者の皆さんが日頃の生活習慣を振り返り、運動や食事などに留意し、健康の保持・増進に努めることが大事です。一人ひとりの心がけが医療費の抑制（節約）につながります。みなさんの意識と努力が、健康をもたらします。

私たちの大切な地域医療を守るために

住民・医療者・行政が一体となり、「地域医療」を守っていくため、様々な情報を発信します



謹んで新年のお喜びを申し上げます

新しい年が皆様にとって良き年でありますようお祈り申し上げます。

平成25年の行事（決定事業）をご紹介します。ご近所お誘い合わせのうえ、ぜひご参加ください。

県立三好病院からのお知らせ ～市民公開講座を開催します～ 「三好病院で行っている消化管がんの最新治療」

- 日時：2月9日（土）14時から
 場所：池田総合体育館 サブアリーナ
 演題・講師
- ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）について
白石 達彦（三好病院 内科医師）
 - 胃がん・大腸がんの腹腔鏡下手術について
東島 潤（三好病院 外科医師）
 - がん化学療法について
辻井 大輔（三好病院 薬剤科薬剤師）
 - がん化学療法の看護について
岡崎 和世（三好病院 がん化学療法看護認定看護師）
 - 放射線治療について
吉田 秀策（三好病院 放射線科医師）

平成24年3月、三好病院は「徳島県地域がん診療連携推進病院」に指定され、徳島県西部のがん診療の拠点病院としての役割を担うことになりました。三好病院では従来からがん診療を積極的に行っていますが、今回の市民公開講座では、胃がんや大腸がんなどの消化器がんに対して三好病院で現在行っている最先端の内視鏡治療（内科・外科）を中心に、化学療法や今後始める予定の放射線治療も含めてお話をさせていただきます。入場料は無料です。多数の皆さまのご来場をお待ち申し上げます。

県立三好病院院長 余喜多 史郎
お問い合わせ先：県立三好病院（電話 72-1131）
 主催：徳島県立三好病院、共催：三好病院を応援する会

三好市医師会による市民公開講座（三好市共催） 「講演会（乳がんについて）」を開催します

- 開催日：3月9日（土）
 場所：三好市池田総合体育館 サブアリーナ
 講師：園尾 博司 先生（川崎医科大学乳腺甲状腺外科教授・山城町出身）
お問い合わせ先：三好市保険医務課 医療担当（電話 72-7613）



三好市地域福祉計画 パブリックコメント募集

意見募集する計画

第2期三好市地域福祉計画（素案）

意見提出ができる人

- 市内に住所を有する方
 - 市内に事務所または事業所を有する個人または法人その他の団体
 - 市内の事務所または事業所に勤務する方
 - 市内の学校に在学する方
 - 前各号に掲げるもののほか、パブリックコメント手続に係る事案に利害関係を有する方
- 公表方法および場所
 ①三好市ホームページへの掲載
 ②三好市福祉事務所地域福祉課および各総合支所での冊子閲覧
- 募集期限
 2月5日（火）17時（郵便による場合は必着）
- 意見の提出方法
 三好市福祉事務所地域福祉課へ書面により、持参・郵便・ファクシミリおよび電子メールのいずれかで提出してください。
- 意見および市の考え方の公表
 提出された意見とそれに対する市の考え方を、市のホームページ、三好市福祉事務所地域福祉課および各総合支所窓口で公表します。
- 提出・お問い合わせ先
 三好市福祉事務所地域福祉課
 〒778-0004
 三好市池田町シンマチ1476番地1
 電話 72-7638、FAX 72-6664
 chikikukushi@city.tokushima-miyoshi.lg.jp

出会い★ときめき 三好のこの人 vol.4

このコーナーでは「文化でまちを元気にしよう」と活躍されている人を紹介していきます。
三好市文化交流推進課 (☎72-7633)



今月の三好のこの人

映画監督

つた てついちろう
葛 哲一朗 さん

三好市池田町出身 28歳

ただ漠然と映画を学びたかった
とくにぎっかけはなかったんです。漠然と映画を学びたいなあと思って、東京工芸大学映像学科に進んだんです。でも、今思えば幼い頃、町に映画館はなかったけど、「子ども劇場」というのがあって公民館などで映画や演劇をよく観せて楽しませてくれたんです。それが影響してたんじゃないかな。



▲「葛監督」ドキュメンタリー映画の撮影風景

地元を舞台に映画をつくりたかった
ずっと東京で都会の映像ばかり撮っていたから、大自然の人つ子一人いないような所の映像を撮りたかった。その思いから「故郷三好市を舞台に映画をつくりたい」「春夏秋冬、移り行く美しい山の季節を感じる」ことができるのは祖谷しかない」と思ったんです。都会では映画を撮るための施設や機材がすぐ借りれませんが、こちらではそういった面で苦労しましたが、地元の方々の温かい協力が大変ありがたかったです。

祖谷の魅力がいつぱい

僕は演技的な部分より絵に力を入れるタイプなんです。「祖谷物語、おくのひと」は、祖谷の風土、自然の美しさ、人々の暮らしやたくましさ、そういった魅力がしっかりと映像で伝わればいいなと思います。詩的な映画を楽しんでもらいたいです。また、たくさんの方の市民の皆さんにも出演していただいているのも見どころです。

葛文也の人間性に迫りたい

今、「葛監督」ドキュメンタリー映画を制作しています。これまでメディアではわりと讃えて伝えられていた祖父 葛文也。だから、孫として負の部分も含めて葛文也の中心、人間性に迫る映画をつくりたいと思っています。でも結局「本当に野球が好きだった人」なんですよね(笑)。いつか、「葛監督」を実写化したドラマも作ってみたいなと思っています。

昔から図工が大好き

総合芸術と言われる映画製作は一番でっかい図工です。自分の思い描いているイメージをひとつひとつ繋げ、具現化したものを皆さんに観ていただける、それに快感を得ているんだと思います。自分が一番観たい

自分が観たいものをどれだけ表現できるか 映画づくりは一番でっかい図工

ものをどれだけ表現できるかが勝負なんです。映画づくりは時間との戦いにもなりますが、これからの戦い自分が満足できるものを作りたいです。そして、出来上がった映画を皆さんに喜んで観てもらって、これからの人生の何かしらのきっかけになってもらえたらいいなあと願っています。



三好市で国際映画祭を開催したい

四国の真ん中にあるここ三好市で「四国国際映画祭」を開催し、海外で見られないような映画や、実際に監督や役者さんに来ていただいて舞台挨拶してもらったり、そんな形でまちの活性化につなげていきたいんです。遠く離れた映画館に向いて行って映画を観るのが大変。もっと身近に映画を観れる環境があればいいなと、つくる立場だけでなく観る立場にも立ってお手伝いしたいなと思っています。

※「出会い★ときめき 三好のこの人」はケーブルテレビでも、タイアップ放送しています。ぜひご覧ください。

にし阿波と恋する時間



あわこい

県西部2市2町(美馬市・三好市・つるぎ町・東みよし町)をエリアとする「にし阿波観光圏」のこれまでの事業の集大成として、また次期観光圏制度認定に向けた地域の気運醸成を図るため、地域資源を活かした短期集中型イベント『にし阿波と恋する時間』を開催します。期間中にはにし阿波観光圏エリアで、様々な体験プログラムが開催されますので、ご参加してみたいかがでしょうか？

阿波に「来い」
まだ見ぬあなたを「希(こいねが)」う
来たりて過(す)は「濃い」時間
きつとあなたは「恋」をする

期間中に開催される44種のプログラムをまとめたパンフレットは、次の場所で手に入れることができます

三好市役所1階ロビー、三好市観光課、各総合支所ロビー、三好市観光案内所、道の駅各所(市内)

にし阿波体感プログラムイベント

2013 2/2(土) ~ 3/3(日)

美馬市 三好市 つるぎ町 東みよし町

にし阿波観光圏協議会事務局
TEL.090-1573-0051

(予約専用電話)
予約受付期間/2013年1月11日(金)~3月2日(土) ※9:00~17:00

URL <http://awakoi.jp>

【主催】にし阿波観光圏協議会

